



備えが大事！防災訓練

沖縄近海を震源とする地震を想定した総合防災訓練が、9月1日にあしびの郷・ちなを中心とした周辺地域でありました。訓練には、地域住民や行政、警察、消防、自衛隊など約300名が参加。消防団や警察による避難誘導や警察、消防、自衛隊が協力した災害救助訓練などが行われ、各関係機関の連携を確認し合いました。



生まれ変わる体育館を見学

上城小学校体育館の大規模改造工事の現場見学会が、9月1日に同体育館でありました。この見学会は、上城小学校の児童に、工事の内容や工事の方法について学んでもらおうと(株)久保建設が行ったもので、体育館の中で説明が行われたあと、作業の体験などもありました。参加した子どもたちは、普段近くで見ることのない工事の様子に興味津々に見学していました。



子供・島・お金・自足を考える

第8回沖永良部シンポジウム（同シンポジウム実行委員会、酔庵塾主催）が、9月9日に知名町フローラル館でありました。今回は、『自足』をキーワードに「食料の自足」「エネルギーの自足」「教育（文化）の自足」「お金の自足」などについて講演やワークショップが行われ、参加者は心豊かな暮らし方について議論を深めていました。



台風を知り、台風に備える

鹿児島地方気象台や県、町が主催の「県民防災講演会in沖永良部」が、9月13日にあしびの郷・ちなでありました。鹿児島地方気象台長の里田弘志氏が講師として、40年前に襲来した沖永良部台風の当時の状況や今後起きうる災害への対策などについて講演を行い、会場に訪れた町消防団などの防災関係者は真剣に話しを聞いていました。



秋の収穫！稲刈り体験

下平川小5年の児童と字老人クラブのメンバーによる稲刈りが、9月19日に余多ふれあい公園でありました。この稲は5月に同メンバーが植えたもので、大きく実った稲を参加した児童たちは慣れない手つきで刈り取っていました。12月には、今回収穫した餅米を使って、字で餅つき大会が行われるそうです。



秋の交通安全運動パレード

交通安全意識の高揚を図ることを目的とした秋の全国交通安全運動パレード及び街頭キャンペーンが、9月21日にありました。沖永良部警察署や各団体から約80名が参加し、役場前からのパレードのあと、交差点でチラシ配布などのキャンペーン活動を行い、ドライバーへ交通安全の協力を呼びかけました。